

# ふかまのまじ

第二七号 〇四年二月一日  
発行元 深町内会連合会  
連絡所 六三三三八二

## 中組町内会 唐戸市場周辺バス旅行

中組町内会長 広川弘之



十一月二十一日(日)、町内の親睦行事として、下関の唐戸市場周辺の観光旅行をしました。参加で、バス三台に分乗し、車内では親睦を図りながら唐戸市場には正午前に到着しました。おだやかな絶好の旅行日和です。関門橋、唐戸市場を背景に記念写真を撮った後は、自由行動の時間です。

水族館(海響館)、カモンワーフ(土産物、食事処等)が唐戸市場に隣接しており、多くの観光客でごった返り、年の瀬を感じさせる情景でした。限られた時間での観光の為、忙しい面もあったと思いますが、家族のふれ合いも出来、買物も出来たし、気分もリフレッシュ出来たのではないのでしょうか。今年はお復旧に苦勞されています。今なお復旧に苦勞されています。個々では解決出来ない。その地区全体の取り組みが問われています。どうあるべきでしょうか。日頃から隣近所のつき合いを大切に、町内の親睦を図ること、いざという時に大きな力が発揮できるのではないのでしょうか。

最後にこのバス旅行が無事出来たのも参加者のご協力と計画、準備、当日の世話とご苦勞いただいた役員の方々に感謝すると共に、平和な生活が続くことを祈ります。

## 「英語で」 「コミュニケーション」

深小学校長 飯本幸子

深小学校では平成十四年度から英語活動に取り組んでいます。現在の先生は、アロン・フォーガティさん。今日はアロン先生の紹介をしましょう。



先生はオーストラリア出身の三十歳です。趣味はスポーツとつり。休憩時間にはすぐ着替えて子どもと運動場で走ったり、ボールを追いかけたりしています。

## 尚寿会だより

尚寿会会長 幸谷 満夫

一、スポーツ行事  
市老連運動会  
雨のため中止



○市長旗ゲートボール大会  
十月二十七日実施、三回戦進出  
二二対一〇、一三対一四、八対一三

○厚生年金ゲートボール大会  
十一月一日実施、二敗

○市選抜ゲートボール大会  
十一月二日実施、三回戦進出  
一四対九、二〇対一三

○六区自民党ゲートボール大会  
十一月四日実施、三回戦進出  
二〇対一五、一四対一五

○各大会ゲームの上段得点は深  
チームです。

○厚生年金グラウンドゴルフ大会  
十一月十七日実施、四人参加

以上で本年の大会は終了。

二、役員会(十一月十六日)

○経過報告  
秋の親睦会は多忙で見送り。

○忘年会計画  
十二月八日、庄原簡保行き。

○新年会計画  
一月二十日、みはらし温泉行き。

校門の前の橋の上からつりもしてました。さしみが大好きで、釣った魚は自分でさしみにするとのこと。学校へも持ってきて食べていたことがありました。

授業は活動的で休む暇もなく子どもたちは動いたり声を出したりしています。どんどんという足ふみの音や声を合わせての発音など、あまりに大きな音や声をするので、となりの教室は戸をしめざるを得なくなり、子どもたちはとても楽しく学んでいます。英語活動の積み重ねで発音もとてもよくなりました。また、恥ずかしがらずに話せるようになっていきます。でも、この「三原だいき」のアロン先生は十二月末でオーストラリアに帰られます。そして、本職の飛行機のコンピュータエンジニアの仕事に戻るの事。自宅はプリズベン、働いているのはダーウィンだそうです。子どもたちもいつか訪ねる日があるかもしれませぬ。

## みはら環境写真コンテスト2004に安藤志保さん入賞



地球環境問題に真剣に取り組み、活動しておられる中組の安藤志保さん、入賞おめでとうございませぬ。

益々の活躍お祈りします。

## 民生委員の受持ち区域の変更について

民生委員・児童委員

沖西 サカエ(下組三班) 紙谷 謹二(上組清国講)

町内の皆様には日頃より、民生委員・児童委員活動に暖かいご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。

私も二名は今年十二月一日から引続き三年間、民生委員・児童委員を厚生労働大臣から委嘱されましたのでよろしくお願ひします。

なお、来年三月、三原市が周辺三町と合併することに伴い、法の定める基準により、民生委員・児童委員の受持ち区域が今年十二月一日から次のとおり変更になりました。



(変更後の受持ち区域)

○沖西 サカエ  
下組の全域及び中組の干川、土居、住宅、仲城、はるかぜ、田屋、松尾、西野の各講

○紙谷 謹二  
上組の全域及び中組の峠、東峠、仲峠、南峠、サンヒルズの各講

民生委員・児童委員は地域の皆様の福祉増進、児童の健全な育成、生活上の相談、自立のお手伝い等のボランティア活動をしていきます。お困りのことなどありましたら、お気軽にご相談ください。

謹んでお悔やみ申し上げます

平 企治様 七二才  
(上組辰巳講)十一月四日

## 深町各種団体十二月行事予定

◆尚寿会	忘年会	八日
◆小学校・幼稚園	保健指導	二日
◆英語活動	PTA役員会・集金日	七日
◆集金日・体重測定	集金日	八日
◆貯金日	貯金日	九日
◆廃品回収	びよびよハウス	十日
◆英語活動	終業式・個人懇談会	十四日
◆女性会	親睦会	八日
◆如水館	終業式	十二日

最近、笑いが健康に良いと言われていることが、笑いで病気を治すということまでは医学的に信用されていないようです。遺伝子研究の世界的な第一人者、村上和雄筑波大学名誉教授はそれを実証するために実験を行い、次のように述べています。

## 展望席

「糖尿病の患者さん二十五名に同じ食事をしてもらい、大学の先生の笑いも淡々とした講義を聞いた後の血糖値と、漫才師のB&Bの漫才で大笑いした後の血糖値とを測定したところ、講義に比べて漫才のほうが血糖値の上昇が平均四六も低かった。笑いだけで血糖値が下がるのです。」まともな医者はいくらもいないと医師に言われたが。

遺伝子を調べたところ、眠っていた健康に良い遺伝子のスイッチがオンになっていた。嬉しい、楽しい、感動、感謝が良い遺伝子を目覚めさせる。私達の体の設計図が遺伝子で、その遺伝子は毎日毎分毎秒働いている。九七％の遺伝子は眠っている。この実験のように、眠っている良い遺伝子を目覚めさせるのは笑が一番、笑いのある生活をすることです。

そして遺伝子を快適に働かせるには一日一善、人のために生きる。遺伝子の中には「助け合いなさい」という情報がある。今年、台風、地震と大変でしたが、「笑う角には福来る」。苦難に負けないように作り笑いをしてもよく笑い、助け合いの精神をより強く持つて良い年を迎えましょう。







### 心に残った、二条城

南 未来

「ここが、二条城か。思ってたより、すごく大きい。」  
 やつと二条城に着きました。  
 あざやかな竜の彫刻の唐門を通って二の丸御殿に入りました。うかを通ると床がうぐいすみいな鳴き声がありました。これはうぐいす張りといってねだ。床板の間ですき間が空いていて、めかすがいで止めてあるんだけど、目かすがいが動いて、うぐいすが鳴いたように聞こえます。私は、敵がこの床を歩くとびつくりするなあと思っていました。  
 二の丸御殿を出て、庭を歩いていたら、お茶会を開いた「香雲亭」がありました。私は、「お茶を飲んだら、和菓子もあつたのかなあ。どんな形や味をしたんだろうなあ。」と思っていました。  
 二条城を出て、西陣織会館や金閣寺をまわって最後の清水寺にきました。音羽の滝の水も飲んで、おみやげは京都限定のシャープペンを買って、京都駅に行きました。  
 「ああ、もう修学旅行が終わるか。でもいっばい思い出もつくれたし、みんなで過ごしたからすごくたのしかった。」と思いましたが、また、家族といっしょに行つてみたいですね。小学校生活のいい思い出になりました。▲▲

### 黄金に光る金閣寺

綱掛 愛美

「金閣寺は歴史の勉強でならつたものだけど、どれぐらいかやいてるんだらう。」と思つて金閣寺に着きました。私は金閣寺を見て驚きました。写真は見たよ、金閣寺全体が光りかやいていたからです。金閣寺の一番上の屋根には、中国でめでたい鳥「ほうおう」がかがやいています。私は、ほうおうが辺りを見回しているのかなと思つていました。  
 それと、義満が自分で植えて育てた「陸舟の松」という舟の形をした松がありました。私は、一本物の舟みたいだな。だれか一人乗れそう。」と思つていました。  
 奥に進むと、義満がお茶の水に使つたと伝えられる「銀河線」という水もありました。私は、その水をのぞき込むと、その水はとてもしきれいな水でした。  
 それから手を清めた「巖下水」という水がありました。その水もとても清潔でした。私もこの水で手を洗いたいなと思つていました。そのほかにいろいろなところがありました。とてもきれいなところがありました。  
 家に着くともうくたくたでした。でも、とても楽しかったです。また行けたらいいなと思つてました。▲▲

### 楽しみにしていた金閣寺

宮永 靖士

楽しみにしていた修学旅行に行つてきました。修学旅行はみんなと遊んだりしてとても楽しかったです。  
 ぼくは、金閣寺をとて楽しみにしてました。金閣の前にある、鏡湖池に金閣がうつるととても美しいと言われていたからです。その鏡湖池に行くと、うつすらと映つていました。  
 ぼくはそれがすごくきれいだつたのでずっと見ています。みんなも、もうすぐ向こうに行つていきました。ぼくは、走つてみんなに追いつきました。陸舟の松は、船にすく似ていて、足利義満が大事に育てた松です。  
 ぼくは、金閣寺を見て足利義満は、大金持ちで、ほんさいや庭園を大切にあつかつていたんだなあと思つてました。  
 金閣寺の次は、清水寺に行きました。清水寺の舞台は、すごく高く、二の丸に高いところから飛び降りたりする人がいるんだ。」と思つて、下を見ました。  
 三原駅について、隆景広場に行くとき、もう、お母さん達が待つていてくれました。行きも帰りもぼくたちを見守つてくれて、ありがたうございました。▲▲



### 修学旅行の思い出

奥本 悠暉

修学旅行最後の見学地、清水寺。二日いろいろな場所を回りましたが、あと一カ所。修学旅行も、もう少して終わりです。なんだかさびしいです。  
 清水寺は、中が見えないように、大きい門があります。本堂に、中が見えせん。  
 清水の舞台は、高いところにある、木のさくがなければ、下に落ちそうになります。その木のさくも、少し押すとギィーギィーな音がします。少し心配になりました。  
 音羽の滝は三つの水口からでています。三つの水はそれぞれ、健康・勉強・恋に効くらしいです。ぼくは、最初は健康の水を飲もうと思つてましたが、どれか分からな味は、水道水とあまり変わりませぬ。  
 帰り道でのおみやげ屋さんには、お菓子やキーホルダーを売つていさんが多かったです。ぼくは、母さんに団子を買いました。  
 この修学旅行は、大変なことでもあつたけど、歴史や遊びがあつて楽しかったです。▲▲

### 楽しかった修学旅行

迫 真紗美

修学旅行の一日目には、東大寺に行きました。  
 東大寺には、南大門があります。南大門は、木でできていて両わきには、こわい顔つきをした金剛力士像が立っています。  
 口が開いている方が、阿形。口を閉じている方が、吽形です。金剛力士像は、顔つきがこわかつたので、なんか、見られているようでこわかったです。  
 東大寺にはいるとすぐに、大仏が目に入りました。大仏は十四七mもあるのに、したから見るとちっちゃく見えました。  
 それから、大仏の後を通つて、鼻の穴の所まで行きました。鼻の穴を見るとき、「通れるかな」と思いました。でも、東大寺のガイドさんが、うまく通る方法を教えてくださったので、うまく通れました。  
 二日目は、金閣寺に行きました。金閣寺は、思つたよりきれいでした。一番上には、ほうおうがいました。ほうおうは、かがやいていて今にも飛び立ちそうな感じでした。  
 次は、清水寺に行きました。清水では、音羽の滝の水のみました。音羽の滝の水は水道水より味があつたような気がします。▲▲

### 初めて見る東大寺の大仏

小林 大祐

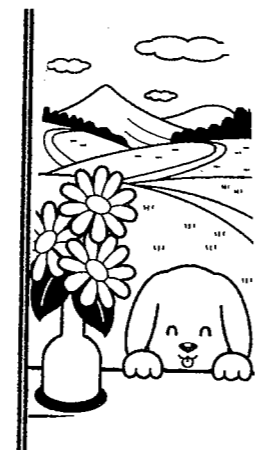
修学旅行、一番初めのユニバーサルスタジオは楽しみにして買いました。みんなと乗り物に乗ったり、買った物をしたのはすごく楽しかったです。そして、もうすぐ大きな大仏を見に行きます。奈良公園には本当にたくさん鹿がいました。あんなに多いとは思いませんでした。ぼくは、鹿せんべいをやろうとしましたが、鹿がどんどん集まつてきて体当たりしたりして、服をつかんだりしたりしてきて、せんべいをなかなかあげられませんでした。  
 入り口の南大門には、金剛力士像がありました。大きくて生きていたようにも見えてすごくかっこよかったです。  
 東大寺の中に入るとまず、すごく大きな大仏が目に入ってきました。大仏は写真で何度も見ていたけど、比喩ものにならないくらい大きかったです。東大寺の北、西、南、東には四天王がいるというのを初めて知りました。四天王は一つしかなかつたので、四つとも見たかったです。一日は東大寺で終わりました。  
 二日目は、金閣寺が楽しみでした。ガイドさんが、「これは金閣寺ではなく、金閣といいますが、みんな金閣寺と言いますが、本当は金閣です。」と言つたので、ぼくはそうなんだと思つていました。金閣は写真よりもすごく光つて、すごくきれいでした。  
 その後の清水寺には、黒い仏像がありました。それをガイドさんが少し説明して、「これは、今でいうガン黒です」といってみんな笑つていました。水を飲むとまよいました。結局、頭が良くなる水を飲みました。ぼくは、買った物はせずに、すぐにバスに乗り込んで京都駅に向かいました。  
 二日間あつという間だったと思つていました。▲▲

16・9・16~17  
 修学旅行の思い出  
 深小6年生



奈良公園 小川 茜

「わあ、しかがおるよー。」  
 奈良公園の付近をバスで通ると、しかが見えてきました。しかは、私がおどろきました。大きかったのにおどろきました。  
 しかせんべいを受け取ると、なんだか、うきうきしてました。奈良公園に入ると、たくさんしかが寄つてきました。そのまま、一匹ずつせんべいをあげていくと、しかにかまれてしまいました。そのときから、しかがこわくなったので逃げました。  
 やつと東大寺に着きました。東大寺は、四十八メートルほどと聞いていたけどこんなに大きいとは思つていませんでした。▲▲



大仏殿の前には、線香が立ててありました。その線香の煙を浴びて大仏殿へと入って行きました。入るとすぐ、大仏様がおられました。とても大きかったです。修学旅行のしおりを見ると、座高は十四メートル九十八センチで、手のひらの大きさは一メートル四十八センチです。  
 大仏の手のひらの長さは、私の身長と同じくらいの長さです。みんなに大きいとは思つていませんでした。  
 修学旅行は、すごく楽しかったです。計画を立てたり、私達の指導をしてくださった先生、いろいろな場所の説明をしてくださったガイドさん、準備や送り迎えをしてくれたお父さんお母さん、たくさんの方々が支えてくださったおかげで楽しめました。▲▲